

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227

広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成25年3月(2013年) No.567

近いうちに、OMC例会 日曜の午後に変更を検討中

厳しい寒さが続いていましたが、ようやく春のきざしが本格化してまいりました。寒いと外へ出るのもおっくうなものですが、暖かくなれば外へ出て何か撮影でもしようかという気持ちにもなってきます。さて、OMC例会は毎月第4土曜日の夜と決まっておりましたが、このところ会員の高齢化も進み、夜の外出はきついという方が増えてまいりました。そこで日曜の午後に例会をやったらどうか、という話が出てきています。

姉妹クラブの大阪ビデオクラブは過半の方がOMCと両方所属しておられ、大阪ビデオクラブ(略称OVC)だけの会員は少数ではありますが、ここも高齢化が進み、夜の運転は難しくなってきたとか、夜の外出は控えている、といった声で例会出席者もぐっと少なくなっています。このままでは運営も難しくなることから、5月例会から第2日曜の午後を予定されています。いずれOMCも合流して第2日曜の午後に開催する方が、会員の皆様にとって好都合なのか、或は困る人が出てくるのか見きわめる必要があります。

課題としては、今まで第2日曜の午後、第4研修室を使っていなかったもので、別のグループが毎日曜午後第4研修室を使用している実態があることです。くじ運次第では第4研修室が常に確保できるとは限りませんので、その場合、第1とか第2、第3とか別の部屋に都度変わることが予想されます。これもやってみなくては判らないことで、大阪ビデオクラブの昼間開催の実績を見ながら、OMCとの合流時期、運営の見直しなど検討していきたいと考えております。5月からのOVC昼間例会の日にOMC会員さんも見学されたら如何でしょう。作品上映したいならOVCにも会員届けをする必要がありますが、まずは雰囲気味わう為参加してみませんか。

3月例会のお知らせ

3月例会は第4土曜23日18時より、いつもの難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。気候も暖かくなっている頃だと思えます。月1回の楽しい集いにぜひお集まり下さい。作品もどしどしお持ち下さい。

■日本アマチュア界の重鎮

川上勝晤氏訃報 のお知らせ とび込む

川上勝晤氏は、かねてより療養中のところ、平成25年3月6日午前2時6分永眠されました(享年83歳)

川上氏は東京映像(前身は東京エイト)を起ち上げられ名門クラブとして不動の地位を確立、毎年新宿西口の安田生命ホールで発表会を開催されてきました。

次に東京で数ある映像クラブをまとめあげ、「東京アマチュア映像連盟」会長として関東地区のアマチュア映像界をリードされてきました。また、全国コンテストも手がけられ、東京アマチュア映像祭全国コンテストを開催、全国の有能な人材発掘にもご尽力されてきました。(後年は顧問)

更に平成9年2月、日本アマチュア映像作家連盟を発足され、日本を縦断する映像発表会が開催されるようになりました。大阪発表会にも毎回来阪され、あのにこやかな笑顔でご挨拶されていたのが印象に残っています。惜しい人を失いました。故人のご冥福をお祈りいたします。

■撮影会について

これまでご案内の通り 5/4 ~ 5/5 の信楽撮影会の最終締切を行います。参加希望の方は3月例会にご出席下さい。参加費16,000円もよろしく。

2月例会レポート

今年は特に寒い日が続いていますが、皆さんお元気で今月は20名の方が集まり、15本の作品が出品されました。10分を超える作品が何本かあったので、司会もあわただしく、時間一杯の上映時間となりました。

皆さんの制作意欲に敬意を表します。

今月の司会は上田氏、書記、河合氏、上映担当、江村、井上の両氏、受付兼照明係は華岡、宮崎の両氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江村、上総、蟹江、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、

高瀬、鉄具、華岡、前田、宮崎、森下、山本、渡辺の20氏と作品15本。

■作品上映(今月の講評は河合世話役です)

1. 氷河(DV)

上総修一郎さん 10分31秒

上総さんが乗られた長さ200メートルの大型客船は苦労して狭い運河を遡行し、目的地のハバード氷河の手前500メートルのところに繋船されると、氷河は透明なブルーに輝いていました。

この氷壁の何処が大崩落するか、幅広い氷壁の何処にレンズを合わせて待つかが問題でした。作者は先ず左半分には賭けました。しかし、待っているうちに作者に迷いが生じ、心の葛藤がはじまって苦悩が語られます。カメラは右に左に揺れ動いています。構えている作者のレンズに小さな崩落が!

本格的な崩落が始まり、歓声とともに大崩落が続きます。すごい迫力。作者の賭けは大成功でした。

2. 新ちきり歳時記(BD)

上田吉巳さん 9分30秒

「ちきり」は岸和田の代名詞(岸和田城の別名が「千亀利城」)ですから、この題名は「岸和田の四季や行事、民俗を網羅した映像」ということになります。

満開の桜と久米田池、修験道の霊場牛滝山の四季、葛城踊りや土生鼓踊りなどの民俗芸能と映像が展開します。時間の制約があつて、盛沢山の内容が紹介程度で終わったのは残念でした。何れじっくりと取り組まれた作者の力作を、拝見したいものです。(「民族」は「民俗」に訂正を)

3. 引き裂かれた恋の歌(BD)

鉄具嘉夫さん 10分

鉄具さんお得意の萬葉集作品が久しぶりに登場しました。身分を超えた恋をした罪で越前に流された、官人(中臣宅守)と娘子(をとめ)との物語です。

調べてみますと、二人の恋の贈答歌56首が、萬葉集巻15に8つのシーケンスに別れて、都と越前の間で展開します。(他に宅守の歌7首あり)たった二人だけの恋歌でこの巻の3分1を占めるといふ、柿本人麻呂や大伴家持にも見られない快挙です。そこには、散文では到底書き表せない

素晴らしい世界がありました。

この感動を採り上げようとされた作者の気持ちは、痛い程解ります。だが、如何せんたった 10 分のビデオで二人の悲恋の世界を描くことは至難の技でした。

それでも「この感動を何とか人に伝えたい」という鉄具さんの気持ちを思うと、私ももっと語りかけたい気持ちで一杯です。しかし、残念ながら私に与えられた紙数は超えてしまいました。あとは個人的なお便りで作者に語りかけたいと思っています。

4. 豊穣への祈り (BD)

河合源七郎さん 12分26秒

HDV と MXF のファイルを無造作に混在編集したがために、一部の映像が超ワイドに変形した旧作を再編集したもの。作品の内容は昨年 10 月の会報をご参照下さい。

5. 佐々成政と黒百合伝説 (BD)

紙本 勝さん 17分

戦国武将佐々成政は、信長家臣団の中でも有数の剛毅な武将でした。信長を慕う忠誠心と、秀吉になじめない反骨心を浮き彫りにし乍ら、作者は成政の生涯を克明に追って行きます。

厳寒の「アルプス越え」に「黒百合伝説」を交えて、数奇な運命に翻弄された成政を、豊富な手持ちの映像資料を駆使して描き、成政のことを「戦乱の越中を統一して平和を呼び戻し、民衆に尽くした城主であった」と結んでいます。

紙本さんは生一本で、損ばかりしている佐々成政をこよなく愛し、その素顔を描きたかったに違いありません。

6. マルタ島 (BD)

華岡 汪さん 10分58秒

地中海の好位置に立地することから、古来多くの國から侵略され、支配者が交替しましたマルタ島。

為に、小さな島に世界遺産が 3 つ残るなど、多彩な文化が残っていると云えます。巨石文化 Hagar Qim、16 世紀まで首都だったイムディール、その城壁の外に広がる下町のラバトの街、聖パウロ大聖堂などが次々紹介されています。

地中海の真珠と言われるマルタには、一度は行ってみたいと思っておられる方も多

いのではないのでしょうか。

7. ガンジスの祈り (BD)

山本正夢さん 9分30秒

インド人の 8 割はヒンドゥ教徒だと言われています。そのヒンドゥ教徒の信仰と風俗に焦点を絞られた作品です。

ヒンドゥの聖地、バナラシの朝焼け。沐浴から一日が始まり、放置された遺体が見受けられるガンジス河畔。喧噪を極める狭い街中を我がもの顔に放浪する牛や野猿たち。山本さんは、彼らの生活を次々と炙り出して行きます。

極め付きは夜のプージャー。ヒンドゥ教の神像礼拝の儀式で沢山の人が参加し祈りを捧げます。最近では観光化して来ている様ですが、流石は山本さん、祈りを捧げる教徒の姿や、火葬場の風景を交えながら、母なる河ガンジスにかかわるインド人の敬虔な祈りの姿を、隈なく描いておられます。

8. 居合道に生きて (BD)

前田茂夫さん 17分17秒

11 月例会の「少女剣士」の続編です。少女が振る鋭い居合刀、こんな剣士に育て上げた師匠(実はお祖父さん)を描かれました。

上映前に「長いと思うが何処を切ったら良いだろうか。」とお話がありました。拝見すると確かに長い。しかし例会で議論が交わされる時間はありませんでした。二次会で再度意見を求められましたので、次のように答えました。「様々の職業を変えた山口さんの生い立ち、家族へも秘密な一子相伝の技は、物語の欠くべからざる要件だが、インタビューの映像で対応するとどうしても長くなる。演舞や稽古の映像の中でナレやテロップでもっと訴えたらどうだろうか」と私見を申し上げておきました。

9. 桜島 (BD)

渡辺雄史さん 5分40秒

鹿児島・桜島をツアーで訪れられた時の作品。ツアーでは手ぶれ防止カメラでの対応は避けて通れませんが、全カットを「手ぶれ防止」で構成すると、どうしても映像にメリハリが無くなってしまおうようです。私は苦肉の策として、レンズを広角側にセットし、前景(例えば溶岩)を超アップで入

れることでメリハリのあるカットを撮影して作品に織り込むようにしています。如何でしょうか。ご参考までに。

10. 大阪よさこい(BD)

江村一郎さん 6分50秒

難波の旧精華小学校跡に設けられた「にぎわい広場」の舞台に「よさこい」が乱舞、そして道具屋筋にチンドン屋が現れ、舞台には道具屋筋のよさこいチーム「まいど」が登場します。正に大阪の「よさこい踊り」です。しかし、大阪の「よさこいチーム」の踊りは、本場高知で評価されることはまだまだ無理なようです。名手江村さんをして此の程度の映像しか撮れないなら、江村さんの高知通いは、まだまだ止められそうにありませんね!!

11. オオヒシクイ(BD)

進藤信男さん 11分50秒

カモの仲間の中でも一番大きい、オオヒシクイです。夏期にカムチャッカで繁殖した彼らは、秋に南下して新潟縣の福島潟に来て、ここを餌場に冬を越します。

夜は潟で過ごし、朝の日の出前には餌場に群れをなして飛び立って行くオオヒシクイは、V字型になったり一列になったり。

「この雁行を観たくて福島潟に来た」と作者は言います。

しかし、北国新潟の冬は厳しい。最後の撮影日、日本海から強い風が吹き出して、夜にはとうとう雪が降りだします。その荒れた天候の中でもオオヒシクイは群れをなして餌を求め飛び立って行きます。「生まれて半年の幼鳥から親鳥まで懸命に生きている」と作者は観衆に語りかけています。

因に作者はこの取材の最後の日に雪と風で愛機が故障し目下修理中とか。

12. 千本釈迦堂(BD)

宮崎紀代子さん 5分7秒

京の千本釈迦堂を取材し、伝えられる伝説「おかめ物語」と冬の風物詩「大根だき」を中心に纏められました。宮崎さんならではの丁寧なナレーションときめ細かい映像でよく理解できました。

ただお節介を承知で一言申し上げるならば、「大根だき」と「おかめ伝説」の2本建ての編集は気になりました。最初に「おか

め伝説」に触れながら応仁の乱にも焼けなかった洛中最古の国宝建造物千本釈迦堂を紹介し、そこでの冬の風物詩として「大根だき」を詳しく描けば、纏まりがもっと良くなったのではないかと思いました。

13. 冬の風情(BD)

有村博さん 3分5秒

永年取り貯められた氷と雪の映像を、多画面分割の画面だけで1本の作品に纏められました。

いつも新しいことに率先して取り組まれる、年齢を感じさせない若さに敬意を表します。

OMC では初めての出来事だったので、皆さんの色々なご意見があったでしょうが、意見交換の時間がなく残念でした。

14. 光のルネサンス(BD)

蟹江利一さん 6分

旧府立中央図書館を中心に、光のルネサンスが始まって10年。

今では会場も東会場、御堂筋と広がって、多彩なライトアップになっています。作者はそれらを丹念に拾って作品に纏められていますが、それだけ作品に山場を作るのが難しい様です。

ライトアップがエスカレートして範囲が広がれば広がる程、どこにアクセントを置いて作るか、苦労はますます増えそうです。

15. やすらい祭り(BD)

高瀬辰雄さん8分10秒

「やすらい花」という名で國の重要民俗文化財に指定され、鞍馬の火祭り、太秦の牛祭りと共に京都の三大奇祭といわれています。疫病退散を願って花の霊を鎮め無病息災を祈願する祭りとして、京都北区の上野、紫野、川上と上加茂の4地区で傳承されているそうです。花傘を先頭に子供達は鉦を叩き太鼓を打つ。そして笛やお囃子と共に街を練り歩く。子供達は大きくなると囃子方や世話方を担当し、後輩を指導するという良き伝統に守られて1000年以上も続いている祭りだそうです。

京都の高瀬さんならではの作品です。

以上で映写を終え、それぞれ居酒屋組と喫茶組に別れて二次会を楽しみました。